

## 読売新聞 きょう（6月6日）のイチ押し

### 1面・3面 北朝鮮が弾道ミサイル8発発射 韓国分析

韓国軍合同参謀本部は、北朝鮮が5日午前9時8分頃から同43分頃に、日本海に向けて短距離弾道ミサイル8発を発射したと発表しました。1日の発射回数では2006年、09年の7発を超えて最多となります。

- ★ いずれも日本の排他的経済水域（EEZ）外に落下したと推定されています。米原子力空母も参加して実施された米韓両軍の合同軍事演習への反発で発射された可能性があります。
- ★ 日本政府は、北朝鮮が多数のミサイルの一斉発射で迎撃を難しくする「飽和攻撃」の能力向上を図っているとみて、警戒を強めています。

### 1面・社会面 学習端末を使ったいじめ、47件

2020年度以降に全国の小中学校に1人1台配備された学習用端末を使ったいじめが、全国の主要109自治体のうち、少なくとも25自治体で47件あったことが本紙の独自調査で判明しました。

- ★ 教員や被害生徒が見られない設定にして複数の生徒が悪口を書き込んで共有したり、体育の授業中に嫌がる女子児童の写真や動画を撮ったりしたといった事例が確認されました。
- ★ 他の児童生徒のIDやパスワードを入手して端末に勝手に入る「なりすまし」も横行しています。こうした不正アクセスは23自治体で36件ありました。
- ★ 学習用端末にいじめ相談ができる機能を導入するなど、対策を進める自治体もあります。37自治体が「トラブルが起きた際に調査するため」として、端末の使用履歴を集めていました。

#### 他紙と比べて

今月3～5日に実施した本紙世論調査の結果を1面などに掲載しています。興味深いのは2面で取り上げた、新型コロナウイルス対策のマスクの着用について。「今後どうしたいか」を尋ねると、「できるだけ着きたい」が41%を占め、「できるだけ着けたくない」は9%止まりでした。「着用を続けたい」派は女性が目立ち、素顔を見せることへの抵抗感などが理由とみられます。